

# グローバル中小型株式ファンド

## 運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2023年6月19日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「グローバル中小型株式ファンド」は、2023年6月19日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
当ファンドにおけるSDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。  
<https://www.resona-am.co.jp/fund/120018/mokuromi.html>  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月6日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル中小型株式ファンド	・RMグローバル中小型株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバル中小型株式ファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

### <照会先>

電話番号：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ： <https://www.resona-am.co.jp/>

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		株組入比率	純資産額
		税金	分配		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2020年10月6日	10,000	—	—	—	1
1期(2021年6月17日)	13,752	0	37.5	97.3	45
2期(2022年6月17日)	9,528	0	△30.7	97.1	39
3期(2023年6月19日)	11,711	0	22.9	97.6	49

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額(元本=10,000円)です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率
		騰	落	
(期首) 2022年6月17日	円 9,528	% —	% 97.1	% 97.1
6月末	10,392	9.1	96.8	96.8
7月末	11,065	16.1	96.2	96.2
8月末	11,220	17.8	97.2	97.2
9月末	10,427	9.4	96.5	96.5
10月末	11,068	16.2	97.0	97.0
11月末	10,839	13.8	97.6	97.6
12月末	10,569	10.9	98.5	98.5
2023年1月末	11,064	16.1	98.9	98.9
2月末	11,146	17.0	100.0	100.0
3月末	10,595	11.2	96.8	96.8
4月末	10,437	9.5	99.1	99.1
5月末	10,851	13.9	98.0	98.0
(期末) 2023年6月19日	11,711	22.9	97.6	97.6

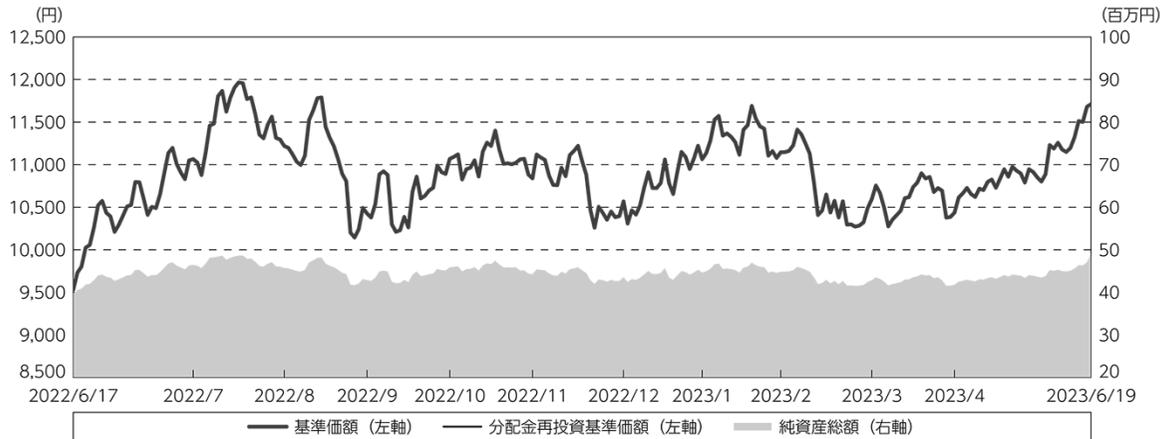
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 期中の基準価額等の推移



期 首：9,528円

期 末：11,711円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：22.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年6月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

欧米で信用リスクに対する懸念が一時高まった際、中小型株の上値が重くなる場面もありましたが、株価調整の進んだグロース株の反発がプラスに寄与した結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

## 投資環境

### グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化しました。期後半は、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧の金融システム不安が強まり、下落する場面もみられました。金融システム不安が小康状態入りするなか、主要国中央銀行による利上げ最終局面入りや日銀による金融緩和継続による買い安心感からグローバルの株式市場は上昇しました。

### 為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、円は日米金利差の拡縮に連動して推移しました。2022年10月には円安米ドル高が急速に進み、一時1米ドル=151円を付ける場面もみられましたが、同年12月の日銀による長期金利の変動許容幅拡大などを背景に円高米ドル安が進みました。その後は内外金融政策の方向性の違いが改めて意識され、円安米ドル高基調で推移しました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）は大幅利上げを急速なペースで進めるなか、1ユーロ=155円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は円・米ドルの双方に対して通貨高となりました。地域別では、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では利上げ進行の影響などから通貨高が進行しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### 当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

### RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は97.8%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

### <プラス要因>

#### ■ クオテリクス（米国）

同社はタンパク質を高い感度で検出する機器を製造しています。同社製品は従来のタンパク質検出法と比較して1,000倍以上の感度で検出できるのが大きな特長です。この特長が最も生かされる領域が神経系で、脳疾患の診断を低コスト・低侵襲（身体に負担を与えない）で行うことやアルツハイマーなど神経系疾患の創薬加速につながる事が期待され、有効な治療法を求める社会要請に応えるものとして評価しています。当期は同社顧客が開発していた複数のアルツハイマー治療薬において市販が決定したことや良好な後期治験データが得られたことが好感され、株価は上昇しました。

### ■ アビオメッド（米国）

同社は医療機器メーカーで、心臓を休ませて回復させるという新たな概念のもと、開胸せず低侵襲で設置が可能な心臓補助ポンプを開発しています。同社の画期的な補助ポンプの導入により過去数十年間変化の無かった蘇生率に改善がみられたことが社会的に評価され、米国を中心に普及が進んでいます。2022年11月に米ジョンソン・エンド・ジョンソン社による同社の買収が決定されたことで、買収価格に収れんする形で株価は大幅に上昇し、当ファンドでは売却を実施しました。

### <マイナス要因>

#### ■ テレパフォーマンス（フランス）

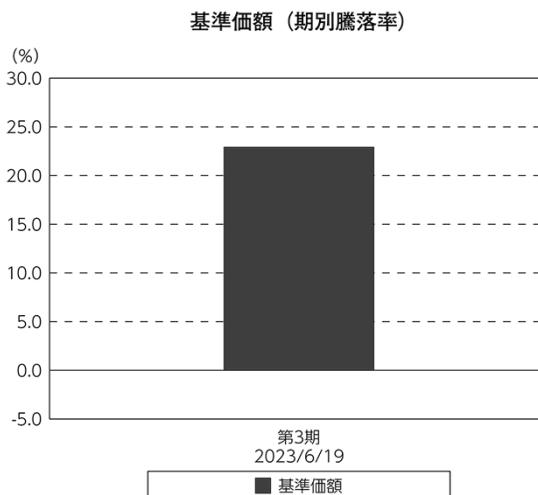
同社は世界的なコールセンター業務等の受託会社で、品質の高いサービスと多言語への対応力を背景に多くのグローバル企業を顧客として抱えています。企業のアウトソース需要の高まりを受けて安定的に業績が拡大するなか、顧客企業が生産性を改善させ、新たなイノベーションの創造にリソースを振り向けていけるよう裏から支える企業として評価していました。しかし、同社コロンビア拠点で不適切な労働環境にあると報じられたことで株価が大幅に下落したことから、真偽については不透明な部分は残るものの、中長期での業績にネガティブな影響が出る可能性を考慮して即座に売却を行いました。

#### ■ ITM パワー（英国）

同社は水を電気分解して水素を生成する電解槽の製造企業で、可搬性や柔軟性に優れるPEM（固体高分子）型電解槽で高いシェアを有しています。水素は燃やしても温暖化ガスを発生させないクリーンなエネルギーとして認識されていますが、風力や太陽光などの再生エネルギーを利用して作られた水素は「グリーン水素」と呼ばれ、特に注目されています。当期において株価は、商業化への見通しが想定よりも遅れていることが嫌気され、大きく下落しました。当ファンドでは、長期的な成長見通しに変化は無いものの、業績への具現化が先延ばしになったことを踏まえ、ウェイトを抑制して継続保有する方針としています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第3期
	2022年6月18日～ 2023年6月19日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,710

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### 当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。  
なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

#### RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場・商品やその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式相場は米国での利上げサイクル終了との見方が広がり、反発を強めていますが、一方で欧米主要国での金融引き締め長期化に伴う世界的な景気後退への懸念は依然として強く、株価は先行き不安定な動きが予想されます。当ファンドでは外部環境の変化に伴う様々なリスクを勘案しつつ、中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うことで、高成長を継続することができる銘柄の選択に努めます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 6 月18日～2023年 6 月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	179	1.659	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 88 )	( 0.813 )	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 88 )	( 0.813 )	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	( 0.033 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.106	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 11 )	( 0.106 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.023	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 2 )	( 0.023 )	
(d) そ の 他 費 用	23	0.216	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 22 )	( 0.208 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.006 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.001 )	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	215	2.004	
期中の平均基準価額は、10,806円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

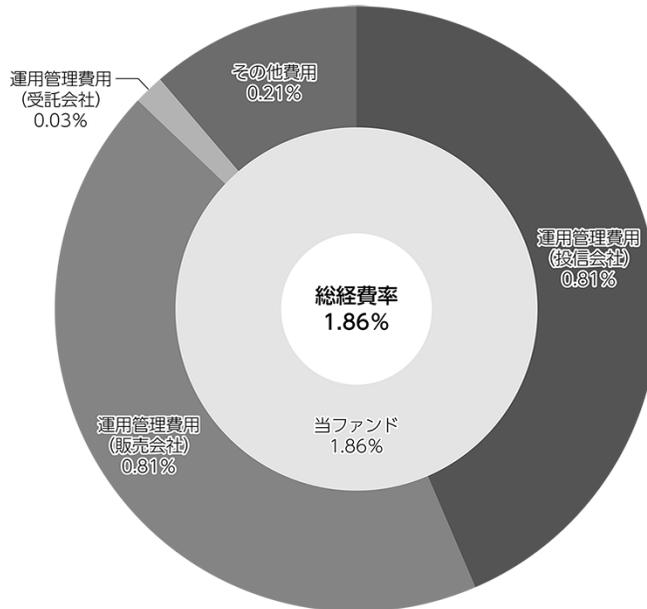
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 3,184	千円 4,776	千口 3,476	千円 5,205

## ○株式売買比率

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	RMグローバル中小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	544,569千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	507,942千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年6月18日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年6月18日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年6月18日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年6月19日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 31,294	千口 31,003	千円 49,121

## ○投資信託財産の構成

(2023年6月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千円 49,121	% 99.1
コール・ローン等、その他	436	0.9
投資信託財産総額	49,557	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル中小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(465,837千円)の投資信託財産総額(574,275千円)に対する比率は81.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=141.97円、1ユーロ=155.22円、1英ポンド=182.02円、1香港ドル=18.15円、1タイバーツ=4.09円、1新台幣ドル=4.6221円。

## ○特定資産の価格等の調査

(2022年6月18日~2023年6月19日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	49,557,161
コール・ローン等	423,701
RMグローバル中小型株式マザーファンド(評価額)	49,121,460
未収入金	12,000
(B) 負債	371,784
未払解約金	9,797
未払信託報酬	360,612
未払利息	1
その他未払費用	1,374
(C) 純資産総額(A-B)	49,185,377
元本	42,000,308
次期繰越損益金	7,185,069
(D) 受益権総口数	42,000,308口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,711円

(注) 当ファンドの期首元本額は41,657,090円、期中追加設定元本額は5,225,875円、期中一部解約元本額は4,882,657円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.1711円です。

## ○損益の状況 (2022年6月18日～2023年6月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 88
支払利息	△ 88
(B) 有価証券売買損益	9,114,178
売買益	9,901,005
売買損	△ 786,827
(C) 信託報酬等	△ 741,189
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,372,901
(E) 前期繰越損益金	△10,832,251
(F) 追加信託差損益金	9,644,419
(配当等相当額)	( 4,057,916)
(売買損益相当額)	( 5,586,503)
(G) 計(D+E+F)	7,185,069
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	7,185,069
追加信託差損益金	9,644,419
(配当等相当額)	( 4,061,629)
(売買損益相当額)	( 5,582,790)
分配準備積立金	1,254,116
繰越損益金	△ 3,713,466

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(325,990円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,930,953円)および分配準備積立金(928,126円)より分配対象収益は7,185,069円(1万口当たり1,710円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# RMグローバル中小型株式マザーファンド

## 運用報告書

第3期（決算日 2023年6月19日）  
（2022年6月18日～2023年6月19日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年4月23日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2020年4月23日	10,000		—	—	200
1期(2021年6月17日)	17,910		79.1	97.4	403
2期(2022年6月17日)	12,674		△29.2	97.2	384
3期(2023年6月19日)	15,844		25.0	97.8	572

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	
2022年6月17日	12,674		—	97.2
6月末	13,832		9.1	96.9
7月末	14,749		16.4	96.3
8月末	14,965		18.1	97.4
9月末	13,925		9.9	96.6
10月末	14,805		16.8	97.2
11月末	14,516		14.5	97.8
12月末	14,174		11.8	98.7
2023年1月末	14,870		17.3	99.0
2月末	15,002		18.4	100.1
3月末	14,278		12.7	96.9
4月末	14,083		11.1	99.2
5月末	14,665		15.7	98.1
(期 末)				
2023年6月19日	15,844		25.0	97.8

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2022年6月18日～2023年6月19日)

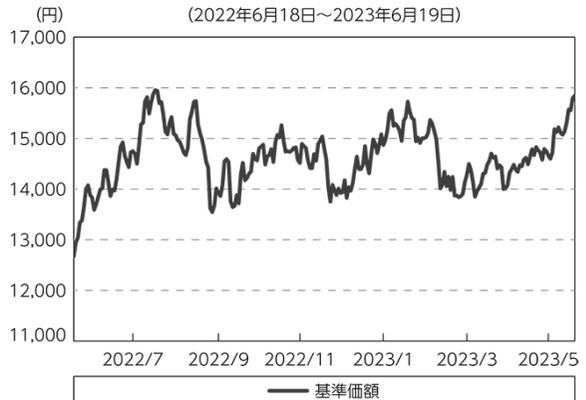
## 期中の基準価額等の推移

## ○基準価額の主な変動要因

欧米で信用リスクに対する懸念が一時高まった際、中小型株の上値が重くなる場面もありましたが、株価調整の進んだグロース株の反発がプラスに寄与した結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

基準価額等の推移

(2022年6月18日～2023年6月19日)



## 投資環境

## グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化しました。期後半は、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧の金融システム不安が強まり、下落する場面もみられました。金融システム不安が小康状態入りするなか、主要国中央銀行による利上げ最終局面入りや日銀による金融緩和継続による買い安心感からグローバルの株式市場は上昇しました。

## 為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、円は日米金利差の拡縮に連動して推移しました。2022年10月には円安米ドル高が急速に進み、一時1米ドル=151円を付ける場面もみられましたが、同年12月の日銀による長期金利の変動許容幅拡大などを背景に円高米ドル安が進みました。その後は内外金融政策の方向性の違いが改めて意識され、円安米ドル高基調で推移しました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）は大幅利上げを急速なペースで進めるなか、1ユーロ=155円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は円・米ドルの双方に対して通貨高となりました。地域別では、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では利上げ進行の影響などから通貨高が進行しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は97.8%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

### <プラス要因>

#### ■ クオンテリクス（米国）

同社はタンパク質を高い感度で検出する機器を製造しています。同社製品は従来のタンパク質検出法と比較して1,000倍以上の感度で検出できるのが大きな特長です。この特長が最も生かされる領域が神経系で、脳疾患の診断を低コスト・低侵襲（身体に負担を与えない）で行うことやアルツハイマーなど神経系疾患の創薬加速につながることを期待され、有効な治療法を求める社会要請に応えるものとして評価しています。当期は同社顧客が開発していた複数のアルツハイマー治療薬において市販が決定したことや良好な後期治験データが得られたことが好感され、株価は上昇しました。

#### ■ アビオメッド（米国）

同社は医療機器メーカーで、心臓を休ませて回復させるという新たな概念のもと、開胸せず低侵襲で設置が可能な心臓補助ポンプを開発しています。同社の画期的な補助ポンプの導入により過去数十年間変化の無かった蘇生率に改善がみられたことが社会的に評価され、米国を中心に普及が進んでいます。2022年11月に米ジョンソン・エンド・ジョンソン社による同社の買収が決定されたことで、買収価格に収れんする形で株価は大幅に上昇し、当ファンドでは売却を実施しました。

### <マイナス要因>

#### ■ テレパフォーマンス（フランス）

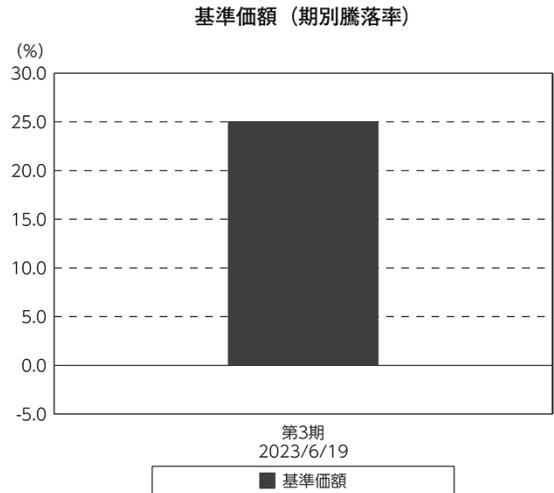
同社は世界的なコールセンター業務等の受託会社で、品質の高いサービスと多言語への対応力を背景に多くのグローバル企業を顧客として抱えています。企業のアウトソース需要の高まりを受けて安定的に業績が拡大するなか、顧客企業が生産性を改善させ、新たなイノベーションの創造にリソースを振り向けていけるよう裏から支える企業として評価していました。しかし、同社コロンビア拠点で不適切な労働環境にあると報じられたことで株価が大幅に下落したことから、真偽については不透明な部分は残るものの、中長期での業績にネガティブな影響が出る可能性を考慮して即座に売却を行いました。

#### ■ ITM パワー（英国）

同社は水を電気分解して水素を生成する電解槽の製造企業で、可搬性や柔軟性に優れるPEM（固体高分子）型電解槽で高いシェアを有しています。水素は燃やしても温暖化ガスを発生させないクリーンなエネルギーとして認識されていますが、風力や太陽光などの再生エネルギーを利用して作られた水素は「グリーン水素」と呼ばれ、特に注目されています。当期において株価は、商業化への見通しが想定よりも遅れていることが嫌気され、大きく下落しました。当ファンドでは、長期的な成長見通しに変化は無いものの、業績への具現化が先延ばしになったことを踏まえ、ウェイトを抑制して継続保有する方針としています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



## ○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場・商品やその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式相場は米国での利上げサイクル終了との見方が広がり、反発を強めていますが、一方で欧米主要国での金融引き締め長期化に伴う世界的な景気後退への懸念は依然として強く、株価は先行き不安定な動きが予想されます。当ファンドでは外部環境の変化に伴う様々なリスクを勘案しつつ、中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うことで、高成長を継続することができる銘柄の選択に努めます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 6 月18日～2023年 6 月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 16 (16)	% 0.107 (0.107)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	3 ( 3 )	0.023 (0.023)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	30 (30) ( 0 )	0.209 (0.207) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	49	0.339	
期中の平均基準価額は、14,488円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 47 ( 1)	千円 41,653 ( -)	千株 3	千円 9,771
	アメリカ	百株 445	千米ドル 1,619	百株 199	千米ドル 1,161
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	6	48	19	70
	フランス	2	70	6	120
	オランダ	5	16	-	-
	ルクセンブルク	4	18	10	35
国	イギリス	59	千英ポンド 11	170	千英ポンド 19
	香港	2,326	千香港ドル 1,489	700	千香港ドル 835
	タイ	1,448	千タイバーツ 540	-	千タイバーツ -
	台湾	4 ( 3)	千新台幣ドル 302 ( -)	215	千新台幣ドル 2,184

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	544,569千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	507,942千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年6月18日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2022年6月18日～2023年6月19日）

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年6月19日現在)

## 国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
食料品 (16.0%)				
ユーグレナ		8.7	17.1	15,612
医薬品 (9.0%)				
ステラファーマ		—	26.5	8,745
機械 (5.5%)				
技研製作所		2.1	2.6	5,397
精密機器 (15.5%)				
ナカニシ		4.4	4.7	15,040
情報・通信業 (30.0%)				
Appier Group		—	7.9	15,894
IPS		5.4	5.6	13,294
不動産業 (19.1%)				
SREホールディングス		3.4	4.4	18,634
サービス業 (4.9%)				
ステムセル研究所		1.1	1.7	4,729
合 計	株 数 ・ 金 額	25	70	97,347
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	8	< 17.0% >

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALIGHT INC - CLASS A	—	95	85	12,138	商業・専門サービス	
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	7	—	—	—	消費者サービス	
CLOUDFLARE INC - CLASS A	16	17	119	16,956	ソフトウェア・サービス	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	—	13	123	17,588	消費者サービス	
ECOLAB INC	—	4	74	10,596	素材	
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	1	1	59	8,399	ヘルスケア機器・サービス	
MP MATERIALS CORP	—	38	86	12,284	素材	
MSCI INC	2	1	92	13,089	金融サービス	
MASTEC INC	14	9	104	14,872	資本財	
STEM INC	—	44	26	3,720	資本財	
XYLEM INC	3	3	41	5,958	資本財	
ELASTIC NV	13	13	90	12,865	ソフトウェア・サービス	
ABIOMED INC	3	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	7	10	211	29,961	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ANSYS INC	4	3	114	16,234	ソフトウェア・サービス	
ARROWHEAD PHARMACEUTICALS IN	27	27	97	13,840	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COUPA SOFTWARE INC	12	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
DATADOG INC - CLASS A	—	10	95	13,593	ソフトウェア・サービス	
EXACT SCIENCES CORP	—	8	74	10,610	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FOX FACTORY HOLDING CORP	13	8	85	12,094	自動車・自動車部品	
ILLUMINA INC	3	7	163	23,148	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INSULET CORP	4	8	234	33,362	ヘルスケア機器・サービス	
STEVEN MADDEN LTD	25	27	92	13,088	耐久消費財・アパレル	
NEUROPACE INC	39	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
QUANTERIX CORP	14	75	169	24,080	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REPLIGEN CORP	5	5	94	13,345	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SHOCKWAVE MEDICAL INC	3	4	120	17,051	ヘルスケア機器・サービス	
TWIST BIOSCIENCE CORP	—	29	53	7,538	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VARONIS SYSTEMS INC	19	24	63	9,048	ソフトウェア・サービス	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額	246	492	2,574	365,469	
	銘柄 数 < 比 率 >	22	25	—	< 63.8% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
RATIONAL AG	1	1	112	17,487	資本財	
COMPUGROUP MEDICAL SE & CO K	10	13	60	9,448	ヘルスケア機器・サービス	
HELLOFRESH SE	15	—	—	—	生活必需品流通・小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	27	15	173	26,936	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 4.7% >	
(ユーロ…フランス)						
TELEPERFORMANCE	4	—	—	—	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	4	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< -% >	
(ユーロ…オランダ)						
CORBTON NV	20	25	65	10,156	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	20	25	65	10,156	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(ユーロ)ルクセンブルク BEFESA SA	百株 16	百株 10	千ユーロ 37	千円 5,810	商業・専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	16 1	10 1	37 —	5,810 <1.0%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	68 6	51 4	276 —	42,902 <7.5%>
(イギリス) ITM POWER PLC	270	159	千英ポンド 12	2,294	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	270 1	159 1	12 —	2,294 <0.4%>
(香港) SHANDONG WEIGAO GP MEDICAL-H XINYI GLASS HOLDINGS LTD VINDA INTERNATIONAL HOLDINGS CHOW TAI FOOK JEWELLERY GROU SITC INTERNATIONAL HOLDINGS TAM JAI INTERNATIONAL CO LTD EC HEALTHCARE	421 330 195 — 91 — 756	477 220 185 220 121 1,300 896	千香港ドル 509 281 378 337 175 241 432	9,246 5,111 6,866 6,117 3,188 4,388 7,854	ヘルスケア機器・サービス 資本財 家庭用品・パーソナル用品 一般消費財・サービス流通・小売り 運輸 消費者サービス 消費者サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,793 5	3,419 7	2,356 —	42,773 <7.5%>
(タイ) CHULARAT HOSPITAL PCL-F	4,000	5,448	千タイバーツ 1,601	6,551	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,000 1	5,448 1	1,601 —	6,551 <1.1%>
(台湾) CHIPBOND TECHNOLOGY CORP MOMO.COM INC	200 16	— 8	千新台湾ドル — 557	— 2,576	半導体・半導体製造装置 一般消費財・サービス流通・小売り
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	216 2	8 1	557 —	2,576 <0.4%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,594 37	9,578 39	— —	462,567 <80.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2023年6月19日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 559,915	% 97.5
コール・ローン等、その他	14,360	2.5
投資信託財産総額	574,275	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(465,837千円)の投資信託財産総額(574,275千円)に対する比率は81.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=141.97円、1ユーロ=155.22円、1英ポンド=182.02円、1香港ドル=18.15円、1タイバーツ=4.09円、1新台湾ドル=4.6221円。

## ○特定資産の価格等の調査

(2022年6月18日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	574,275,839
コール・ローン等	13,779,752
株式(評価額)	559,915,152
未収配当金	580,935
(B) 負債	1,512,029
未払解約金	1,512,000
未払利息	29
(C) 純資産総額(A-B)	572,763,810
元本	361,507,749
次期繰越損益金	211,256,061
(D) 受益権総口数	361,507,749口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,844円

(注) 当ファンドの期首元本額は303,586,825円、期中追加設定元本額は65,274,066円、期中一部解約元本額は7,353,142円です。

(注) 2023年6月19日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・リソナグローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家専用) 330,504,555円  
 ・グローバル中小型株式ファンド 31,003,194円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.5844円です。

## ○損益の状況 (2022年6月18日～2023年6月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,254,488
受取配当金	4,242,455
受取利息	18,550
その他収益金	748
支払利息	△ 7,265
(B) 有価証券売買損益	99,840,903
売買益	162,709,642
売買損	△ 62,868,739
(C) 保管費用等	△ 1,083,490
(D) 当期損益金(A+B+C)	103,011,901
(E) 前期繰越損益金	81,183,984
(F) 追加信託差損益金	30,722,434
(G) 解約差損益金	△ 3,662,258
(H) 計(D+E+F+G)	211,256,061
次期繰越損益金(H)	211,256,061

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。